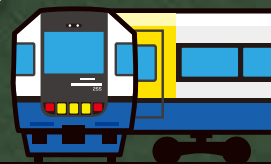




鉄道で行く千葉



第6回

JR内房線 その②

Uchibo Line Part:2



JR内房線を館山方面に向かって走る、255系 房総特急「さざなみ」(上総湊～竹岡間)

Uchiho Line Part: 2

千葉駅を出発したJR内房線の列車は、木更津駅を過ぎ、一路館山駅へ。

今回ご紹介する内房線の木更津駅から館山駅の区間は約54キロ。房総の山々と、東京湾の海辺の間の平地を縫うように走る路線。海、山の風景それぞれを間近に感じることができます。

海沿いの限られた平地を走る路線のため、トンネルの数が多いのも特徴。列車が暗いトンネルから明るい日差しの下へ、そして目の前に海の風景が一気に開ける体験は、内房線の大きな魅力の一つです。



JR内房線の話の車両と臨時快速列車

まだまだ現役!お馴染み113系車両。

現在、JR内房線では徐々に新しい209系2000番台の車両に世代交代が進んでいますが、まだまだ現役で活躍中なのが、この113系の車両です。その青とクリーム色のデザインは、内房線といえばこれ!といわれるくらいお馴染みの存在。この113系がもっとも活躍した時代は、1963年から1982年にかけて約2,900両もの多数の車両が製造され、本州の平坦で温暖な地域の路線で、普通列車から快速列車まで幅広く用いられてきました。

JR内房線で走る青とクリーム色のデザインは横須賀色(通称:スカ色)と呼ばれるもの。砂浜と海の色をイメージした配色で、1964年から横須賀線の113系に長年にわたって使われてきたため、愛好者の間で付けられた愛称です。この113系ではもう一つ、みかんと言われる車両も有名で、これは現在、千葉県で見ることができません。横須賀色、湘南色の車両とも、もうすぐ無くなってしまうことも関係して、全国からこの車両見たさに、房総を訪れる熱心な鉄道ファンも多くいます。

2009年10月から内房線に新しく登場した209系2000番台の車両。



内房線を南下しトンネルを走り抜け、一路館山方面へ。



進行方向の右側は海、左側は山。内房線を象徴する風景です。



湘南色と横須賀色の車両が連結した形で内房線进行することもあります。

お座敷列車 485系「ニューなのはな」。

JR内房線には、季節の風物詩のように、特別に仕立てられた列車も運行されています。中でも最も人気があるのが快速「お座敷春満喫」号。車内にお座敷が設置された特別列車で、両国駅・館山駅間を一日で一往復します。この列車の見ものは、上総湊駅前に広がる菜の花畑や桜の花。房総の春を象徴する風景が車窓から楽しめます。

●2010年4月3日(土) 列車名「ニューなのはな」
(お座敷定員204名)

ゴールデンウィーク企画

●2010年5月1日(土) 列車名「ニューなのはな」
(お座敷定員204名)



車内はお座敷になっています。

485系 ニューなのはな。

※詳しい内容につきましては、JR東日本の「みどりの窓口」へお問い合わせください。

JR内房線に乗って。

JR木更津駅から館山方面へ。この区間は左側に山や田園風景、右側には海の風景が随所に見られます。海の向こうには遠く三浦半島の姿も。海辺の町の向こうに見える海の表情は、時間とともに刻一刻と、列車に乗る間にも変化していきます。



木更津駅を出発して、すぐ左側。久留里線の車庫があり、何台も車両が停車しています。



大貫駅を出て右側の山の上には、海に向かって立つ大きな東京湾観音の背中が見えます。



佐貫町駅を出て、右に見える山の上。今度は東京湾観音を正面から見るができます。

JR内房線で発見したお手軽グルメ&お土産！

J R 館 山 駅 構 内

長 登 屋



●まるっとびわゼリー(4個入)
525円(税込)

「まるっとびわゼリー」は、館山の人気グルメとしてテレビでも紹介された南房総の名産品、びわ1個が丸ごと入ったゼリー。冷やして食べるととても美味な一品です。

また、館山のもう一つの名物が、この「くじら弁当」。中央に卵のそぼろ、その両脇に鯨肉の大豆煮とそぼろ。軟らかい食感の肉と、ほんのり味噌味の鯨肉をそぼろで、ご飯がすすみます。(くじら弁当は、1日30食限定!)

マ リ ン



●くじら弁当 1,000円(税込)

車窓からの風景

スペシャルビューポイント



鋸山の大パノラマ！

列車が浜金谷駅に差し掛かる頃から、右前方に見えるのが、鋸山の見事な絶景です。鋸山の名の通り、刃のようにギザギザに見える稜線。江戸時代から盛んに採石が行われ、そのため露出した山肌の岩が鋸の刃状に見えることからこの名で呼ばれるようになったと言われています。



佐貫町駅を過ぎたあたりから、車窓に広々とした海が見えるようになります。冬の良く晴れた日には、海の向こうに三浦半島を見ることができます。



上総湊駅を出てすぐ右側に見えるのが上総湊港です。釣り船などもここから出航します。



安房勝山駅を出て左側、少し離れた場所に、ドライブイン「ハイウェイオアシス 富楽里」が見えます。



富浦駅の駅舎はひときわユニーク。海の雰囲気を感じさせるコバルトブルーのトンがり屋根が鮮やかで、異国情緒を漂わせています。



那古船形駅を過ぎしばらくすると右側に見えてくる橋と海。夕日の時刻には、まるで絵画のようなオレンジに染まった絶景が見られます。



海にも近い館山駅の駅舎は、まるで南国を思わせるような真っ白な壁とオレンジ色の屋根の建物。青空とのコントラストが見事です。また、毎年春先になると駅前には、たくさんの色鮮やかな花が咲き観光客の目を楽しませてくれます。

JR内房線の、家族で出かけられる遊び場情報



マザー牧場

内房線でお出かけ!となれば見逃せないのがここマザー牧場です。花の咲く大自然の中で、動物と触れ合うことのできる「エンターテイメントファーム」です。牧場に暮らすのは、牛・羊・馬・ブタ・うさぎ・牧羊犬などなど、動物とのふれあいイベントも場内各所で用意されていて、お子様も大喜び。大人もうれしい「旬の味覚狩」などもあって、家族全員とことん遊べる場所です。



ツアーガイドと広大な牧場をトラクタートレインでまわる「マザーファームツアー」では、アルパカや羊へのエサやり体験も楽しめます。



四季折々の花が場内を彩ります。春には300万本の菜の花が広大な斜面を黄色に染めます。



牛の温もりを実感する「牛の乳しぼり体験」は、お子様も楽しめるイベントです。

- 開園日／2月～11月 土・日・祝日 午前9時～午後5時
平日 午前9時30分～午後4時30分
12月～1月 土・日・祝日 午前9時30分～午後4時
平日 午前10時～午後4時

※春休み、夏休み、年末年始は土・日・祝日の営業時間となります。
※ゴールデンウィークは特別営業時間となります。
(天候などの状況により短縮又は延長することがあります)

- 休園日／2010年12月13日～17日、2011年1月11日～14日
- 料 金／大人(中学生以上)1,500円
小人(4歳～小学6年生)800円
- 交 通／JR内房線「佐貫駅」より天羽日東バスで約20分、マザー牧場下車
JR内房線「君津駅」よりマザー牧場まで無料送迎バスあり(要予約)
館山自動車道 木更津南ICから約30分
- 駐車場／あり 4000台 800円
- 問い合わせ／0439-37-3211
- 住 所／〒299-1601 千葉県富津市田倉940-3
- 公式サイト(<http://www.motherfarm.co.jp/>)

鋸 山(鋸山 日本寺)

石を切り出した跡の様子が鋸の刃に似ていることから名前が付いたと言われる鋸山。山の上には、約1300年前に開かれた日本寺があり、南側の斜面はその境内となっています。広大な敷地には、日本最大の磨崖(まがい)の大仏様や、スリル満点の絶景が楽しめる「地獄のぞき」など、見所が満載です。



▲頂上付近にある日本寺の名所のひとつ「地獄のぞき」。切り立った岩盤の上から下をのぞき見る風景はスリリングなもの。

▲原型は天明3年(1783年)に、大野崑五郎英令が門第27名とともに3年を費やして造られたもの。その後、昭和44年6月、4年にわたる復元工事によって再現した、総高31.05メートルある日本最大の磨崖(まがい)の大仏様です。

磨崖(まがい)の大仏様
岩盤に直接浮き彫りした仏様のこと。

- 拝観時間／午前8時～午後5時
- 休 日／無休
- 拝観料／大人600円
小人(4～12歳)400円
- 交 通／JR内房線「保田駅」より徒歩約30分
- 駐車場／あり 60台(無料)
- 問い合わせ／0470-55-1103
- 住 所／〒299-2111 千葉県安房郡鋸南町鋸山
- 公式サイト(<http://www.nihonji.jp/index.html>)

駅前発見! 探してみよう!

君津駅前のミツバツツジ!

JR君津駅を降りると、階段を上がって改札へ。ここから左右どちらの出口でもOK。階段を下りて中央に回りこみ駅舎を見上げると、そこには大輪のミツバツツジの花。もちろん金属で作られた造花ですが、なんとも綺麗な光りを発して、駅の利用者をお出迎えしています。

ちなみに、このミツバツツジは君津市の花。まちをあげて保護に努めており、ミツバツツジの里づくりが進められています。



調べてみよう! 内房線クイズ?

館山駅で売られている、
びわがれごと入ったゼリー
の名前は?

1. そのままびわゼリー
 2. ほろっとびわゼリー
 3. まるっとびわゼリー
- ※正解は次号紙面で!

※前回のクイズの正解、内房線で活躍する特急の呼び名は「2」さざなみでした。